

「明解国語総合」評価規準例

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
公園に行く		1〔読むこと〕	○写真を見ながら詩を読むことで、詩と写真の響き合う心を味わう。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイエ	〔言語事項〕アイ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①詩のリズムに触れ、豊かなイメージをもつことばを味わいながら音読する。	①詩のリズムを大切にし、豊かなイメージを味わいつつ、朗読できる。	行動の観察	☆間や問い掛け、イメージの広がることばに注意しながら、朗読しようとしている。 ----- ★意味やイメージに即した滑らかな音読ができない生徒には、範読したり、意味やイメージを考えさせながら繰り返し音読させる。
読む能力	②書き手の思いを読み取り、写真を見ながら詩を読み味わい、人間、社会に対するものの見方・感じ方・考え方を広げたり深めたりする。	②詩に描かれている「私たち」の思いを読み取り、「私たち」と「あなた」の関係について理解している。	記述の確認	☆「私たち」の思いの意味するところを読み取り、「あなた」との関係の中で自分なりの考えをもつことができる。 ----- ★「あなた」「私たち」を明らかにし、その関係を理解させる。
知識・理解	③詩の展開、語句の意味、用法および表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。	③省略されている語、各聯の展開、暗示している内容、擬人法を理解し、文脈における語句の意味をとらえている。	行動の観察	☆写真を見つつ、詩の意味する内容を的確にとらえることができる。 ----- ★一語一語の意味することを考えさせ、比喩的に表現されている内容を理解させる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
希望		2〔読むこと〕	○構成と話題に着目し、人間が生きるうえでの「希望」の意味を読み取る。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cウエ	〔言語事項〕イウ
評価の観点	「学習活動の指導目標」	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①人物の考え方や生き方をとらえながら文章を読む。	①スタシャックさんの考え方や生き方をとらえながら文章を読もうとしている。	行動の観察	☆スタシャックさんの生き方の背景を把握し、希望に対する考えを読み味わおうとしている。 ----- ★読み取りの困難な生徒には、スモールステップで、具体的な記述を指摘させながら、正確な読解ができるように配慮する。
読む能力	②話題を意識しながら文章を読む。	②本文における「希望」の意味を理解し、自分の生き方につきあわせて考えようとしている。	記述の確認	☆本文の文脈における「希望」の意味をふまえ、自分の場合や、現代社会の場合など、考えを広げている。 ----- ★考えを広げられない生徒には、他の生徒の考えを参考にさせたり、教師の考えを示したり、具体的な助言をする。
知識・理解	③常用漢字の読みに慣れる。	③常用漢字の、文脈に応じた適切な読み方を身につけている。	行動の観察	☆意味のまとまりや息継ぎに注意しながら、内容をふまえた正確な音読ができる。 ----- ★適切な読み方が身につけていない生徒には、正しい読みを確認しながら、一斉読み、グループ読みなど、さまざまな形で音読するよう具体的な助言をする。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容		
表現の窓 1 - メモ取り伝言ゲーム		2 〔話すこと・聞くこと〕	○きちんと「聞く」とはどういうことか、改めて考えてみる。 ○効果的なメモの取り方を理解する。		
重点的に指導する学習指導要領の内容			Aイ	〔言語事項〕ア	
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法 (材料)	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例	
関心・意欲・態度	①相手の話をきちんと聞こうとする態度を身につける。	①相手の話の内容を正確に聞き取ろうとしている。	行動の観察 (聞き取り)	☆的確に聞き取るために話の要点がどこにあるかを考えて聞き取ろうとしている。 ----- ★学習活動に積極的に取り組めない生徒には、ここでの学習内容が社会生活のさまざまな場面で必要とされる言語技術であることを説明する。	
話す・聞く能力	②相手の話の内容を的確に聞き取る。	②相手の話の内容を過不足なく聞き取っている。	行動の観察 発言の確認	☆話の要点がどこにあるかを意識しながら聞き取っている。 ----- ★話の要点がどこにあるのかわからない生徒には、「5 W 1 H」を意識するように指示する。	
知識・理解	③効果的なメモの取り方を理解する。	③話の要点がどこにあるのかを考えながらメモを取っている。	記述の確認	☆与えられた情報を、中心的な部分と付加的な部分とを明確に区別しながら、メモを取っている。 ----- ★話の要点がどこにあるのかわからない生徒には、「5 W 1 H」を意識するように指示する。	

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容		
一瞬を生きる		6〔読むこと〕	○老人と若者の二人の心情や生き方について考える。 ○語りの視点を意識しながら、人物像を明らかにする。		
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cウエ	〔言語事項〕イ	
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例	
関心・意欲・態度	①彼（「若者」）と老カメラマンの心情を理解し、その生き方を理解することをおおして、人間の生き方に対して自分の考えをもつ。	①描かれた人物の心情や人物像を理解し、自分なりの考えをもとうとしている。	記述の確認	☆「彼」と老カメラマンの二人の生き方を理解したうえで、自分の生き方について考えようとしている。 ----- ★「彼」と老カメラマンの人生について考えさせ、感想をまとめさせる。	
読む能力	②彼（「若者」）と老カメラマンの心情やスタジオでの情景を表現に即して読み味わい、それぞれの生き方を理解する。	②語りの視点がどこにあるかを読み取り、表現に注目しつつ、彼（「若者」）と老カメラマンの心情、生き方、人物像、場面を理解している。	記述の確認	☆「彼」が老カメラマンとのかかわりの中でどのように変化したのか読み取り、自分なりの考えをもつことができる。 ----- ★「彼」と老カメラマンとの会話、スタジオでの行動を整理し、そこでの心情を考えさせる。	
知識・理解	③文章の組み立て、語句の意味、用法および表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。	③段落相互の関係をとらえ、文脈上の語句の意味や漢字の使い方などを理解している。	記述の確認	☆場面に即して段落分けをすることができ、新しく学習した語を自分の表現にいかすことができる。 ----- ★場面を整理し、展開に即して段落を考えさせる。辞書を引くことや漢字の読み書きに習熟させる。	

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
わたしの大切なもの		6 〔話すこと・聞くこと〕	○自分の大切なものを、クラスみんなに紹介する。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Aア	〔言語事項〕ア
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法 (材料)	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①さまざまな事柄に対して、自分なりの課題意識をもつ。	①身のまわりのものに対して、自分なりのものの見方や考え方をもちようとしている。	記述の点検 (原稿)	☆身のまわりのさまざまなものに対して、多面的な角度や方法から検討を行い、自分なりの考え方をもちようとしている。 ----- ★自分なりもの見方をもちようしない生徒には、見聞きしたり体験したことを再度振り返って考えるよう指示する。
話す・聞く能力	②論理的な構成で、自分の意見を相手に伝える。	②自分の考えを、ことばで論理的に組み立てている。	行動の観察 (スピーチ)	☆自分の考えが確実な論拠に支えられ、聞き手を納得させ、同意させ、共鳴させる話をしている。 ----- ★話の内容が前後で矛盾している生徒には、序論・本論・結論などの型を用いて、原稿を書き直すよう指示する。
知識・理解	③スピーチの方法について理解する。	③用いる語句や音量、声の調子などを工夫する方法を身につけている。	行動の観察 (スピーチ・スピーチ感想カード)	☆話す速度や抑揚や間の取り方など、技能的な要素についても十分身につけている。 ----- ★人前で話すことが難しい生徒には、原稿をそのまま読むことから始めるよう指示する。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
水の東西		6〔読むこと〕	○二つの水の姿をとらえ、文化の違いについて考えを深める。 ○対比的表現に着目して、筆者の考えを読み取る。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cアイエ	〔言語事項〕ウ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①文化の違いについて、日本と西洋の水の比較から、考えを深めようとしている。	①日本と西洋の水の比較から、文化の違いについて考えを深めようとしている。	行動の観察	☆異なる文化について、水以外についても例をあげて考察を深めようとしている。 ----- ★文化の違いについて考えられない生徒には、日本人にとっての水がどのような対象か、文章に線をひくよう指示する。
読む能力	②対比表現に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	②鹿おどしと噴水の違いに着目して、日本人と西洋人の水に対する考え方を理解しようとしている。	記述の分析	☆日本と西洋の水の比較を通して、筆者の主張を的確に読み取っている。 ----- ★筆者の主張を読み取れない生徒には、「行雲流水」には日本人のどのような心が現れているか、まとめるよう指示する。
知識・理解	③主な常用漢字について使い方を理解する。	③主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検	----- ★音訓の使い方が身につけていない生徒には、辞書を用いて音訓を確かめるよう指示する。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
表現の窓2－わかりやすい表現		4〔書くこと〕	○相手に自分の言いたいことを伝えるための文や文章の整え方について考える。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Bア	〔言語事項〕 イ・オ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①読む人の立場に立って、自分が書いた文や文章がわかりやすいものになっているかを吟味する態度を身につける。	①読む人の立場に立ち、自分が書いた文や文章のわかりにくい点を改めようとしている。	行動の観察 記述の確認	☆読む人の立場に立って、自分が書いた文や文章がわかりやすいものになっているかを吟味することができる。 ----- ★自分が書いた文や文章のわかりにくい点や改善案が見つけれない生徒には、その箇所を指摘したり、改善のヒントを与えたりする。
書く能力	②自分の言いたいことを相手にきちんと伝えるために、わかりやすい文や文章を書くことができる。	②自分の言いたいことを相手にきちんと伝えようとしているが、自分の書いた文や文章を客観的に見ることが十分にできていないため、あいまいな点や誤解されそうな点が残っている。	記述の確認	☆読む人の立場に立ち、自分の言いたいことがきちんと伝わるように、わかりやすい文や文章が書けている。 ----- ★文や文章にわかりにくい点が見られる生徒に対しては、その箇所を具体的に指摘し、改善させる。
知識・理解	③わかりやすい表現にするために、主述の照応・文節の関係・副詞の呼応・一文を短くする・ことばの正しい使い方などについて理解する。	③わかりやすい表現にするための観点（主述の照応・文節の関係・副詞の呼応・一文を短くする・ことばの正しい使い方など）がおおむね理解できている。	記述の確認	☆教科書の例文を丁寧に分析し、わかりにくさの原因がどこにあるかを理解し、わかりやすい文に書き直すことができる。 ----- ★わかりにくさの原因がどこにあるか理解できなかったり、わかりやすいものに改められなかったりする生徒には、別の例文を示して、再度考えさせる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
古典の響き		2〔読むこと〕	○古典文学の美しい響きを感じ、繰り返し音読することで、その美しさを味わう。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイ	〔言語事項〕エ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①音読することで、美しいことばの響きを味わう。	①繰り返し音読することで、美しいことばの響きを味わおうとしている。	行動の観察	☆文章の意味を理解し、それを音読に生かしている。 ----- ★音読がうまくできない生徒に対しては、範読に続けて音読させる。
読む能力	②それぞれの作品が描いているテーマを読み取る。	②それぞれの作品が描いている情景や心情を読み取っている。	発言の確認	☆それぞれの作品が描いている情景や心情などを的確に説明している。 ----- ★それぞれの作品のテーマが読み取れない生徒に対しては、ほかの生徒の優れた意見をノートに写させる。
知識・理解	③歴史的仮名遣いが現代語とは違うことを理解する。	③表記と読みの違いがあることを理解している。	発言の観察	☆歴史的仮名遣いの部分に気をつけながら、適切に音読している。 ----- ★読みがなをふった部分と、傍訳とを対照させて、意味を確認しながら音読させる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
物語の世界へーかぐや姫のおひたちー		2〔読むこと〕	○歴史的仮名遣いに注意しながら音読し、ふしぎな世界を味わう。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cアウ	〔言語事項〕エ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①音読しながら、物語のおもしろさを味わう。 ②口語訳と比較しながら、現代の文章との違いに気づく。	①音読しながら、物語のふしぎさ、おもしろさを味わおうとしている。 ②本文を通して、古文らしさに気づき、どんな特徴があるのかを見つけようとしている。	発言の観察 行動の観察	☆物語のおもしろさを理解し、それを音読に生かしている。 ☆「古典のとびら」の項目にしたがって本文の特徴を指摘、分類できる。 ----- ★物語のおもしろさを味わえていない生徒に対しては、興味・関心をもったところについて、感じたことを書き出させる。 ★小段落に区切って、口語訳と本文とを対照させ、違いをチェックさせる。
読む能力	③情景を浮かべながら、物語のふしぎな世界について考える。 ④登場人物の言動に表れた思いを読み取る。	②物語の中に出てくるふしぎなできごとについて考えている。 ③敬語の使用、翁のしぐさなどの着目し、考えようとしている。	発言の確認	☆物語のふしぎなできごとに気づき、物語のおもしろさを味わっている。 ----- ★段落ごとに区切って内容を整理し、そこから読み取れることをメモさせる。
知識・理解	⑤歴史的仮名遣いを理解する。 ⑥古今異義語があり、古語の用言に現代文とは違う形や活用形があることを理解する。 ⑦『竹取物語』の文学史的意義を理解する。	⑤歴史的仮名遣いを理解している。 ⑥口語訳と比較しながら、古今異義語や用言の特徴に気づこうとしている。 ⑦『竹取物語』の文学史的意義を理解している。	行動の観察 記述の観察	☆歴史的仮名遣いを理解し、適切に音読している。 ☆本文の展開やおもしろかった点について自分のことばで正しく説明、発表している。 ----- ★歴史的仮名遣いが理解できない生徒に対しては、読み仮名をふらせ、現代仮名遣いとの違いに注意しながら、繰り返し音読させる。 ★「あやしがり」「うつくしう」などがどんなことばか口語訳で確かめさせる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容		
物語の世界へー清水寺のいさかひー		3〔読むこと〕	○人物の動きに注意して場面を明らかにし、人物のおもしろさをとらえる。		
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cアウ	〔言語事項〕エ	
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例	
関心・意欲・態度	①音読しながら、物語のおもしろさを味わう。	①音読しながら、物語のふしぎさ、おもしろさを味わおうとしている。	発言の観察 行動の観察	☆物語のおもしろさを理解し、それを音読に生かしている。  ★物語のおもしろさを味わえていない生徒に対しては、興味・関心をもったところについて、感じたことを書き出させる。	
読む能力	②人物の動きに注意して、場面を明らかにする。	②人物の動きの意味を考え、その行動の意味を考えている。	発言の確認	☆情景や人物の心情を理解し、物語のおもしろさを味わっている。  ★情景や心情が読み取れない生徒に対しては、人物の動きなどをノートに書き出させ、そこから読み取れることをメモさせる。	
知識・理解	③歴史的仮名遣いを理解する。 ④「宇治拾遺物語」の文学史的意義を理解する。	③歴史的仮名遣いを理解している。 ④「宇治拾遺物語」の文学史的意義を理解している。	行動の観察 記述の観察	☆歴史的仮名遣いを理解し、適切に音読している。  ★歴史的仮名遣いが理解できない生徒に対しては、読み仮名をふらせ、現代仮名遣いとの違いに注意しながら、繰り返し音読させる。	

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
表現の窓3－絵から物語へ		4〔書くこと〕	○一枚の絵から想像を広げ、物語を作り、読みあう。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Bアウ	〔言語事項〕アイ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①自分以外の人が書いた文章を分析し、その特徴や良さを多くつかもうとする態度を身につける。	①一つ一つの文章を丁寧に読み、その発想、表現、話の流れの工夫をつかもうとしている。	記述の確認	☆自らの文章と比較し、発想、表現、話の流れの工夫をつかみ、今後の自分の書くことに活用しようとしている。 ----- ★文章から発想、表現、話の流れの工夫を読み取れない生徒に対しては、読後の感想をまとめさせ、その根拠を考えさせる。
書く能力	②一枚の絵から想像したことをわかりやすく文章にまとめている。	②人物、情景、心情等を明確にし、一続きの話になるよう表現を工夫して文章にまとめている。	記述の分析	☆独自の発想に基づいて、人物、情景、心情等を丁寧に描き、読み手の印象に残る文章を書いている。 ----- ★一続きの文章にできない生徒には短文を並べて文章の柱とさせ、少しずつ細かい内容をつけ加えさせる。
知識・理解	③文や文章の組み立てを工夫することによって、述べたいことを効果的に表現できることを理解する。	③文章の書きだしを工夫することによって述べたいことを効果的に表現できることを理解している。	記述の点検	☆文章の書きだしの効果をよく理解し、読み手をひきつけ、印象を強めるような文章を書いている。 ----- ★なかなか文章を書きだせない生徒に対しては、過去に読んだことのある文章の書きだしを思い出させる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
イースター島にはなぜ森がないのか		5〔読むこと〕	○森がなくなったイースター島から、わたしたちが学ばなければならないことは何かを考える。 ○繰り返し使われる語句に注意して、具体例から導き出される筆者の主張をとらえる。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cアエ	〔言語事項〕ウ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①人と生態系の関係について考える態度を身につける。	①森がなくなったイースター島から、わたしたちが学ばなければならないことは何かを考えようとしている。	記述の確認	☆イースター島の例から、わたしたちが学ぶべきことをとおして、人と生態系の関係について考えを広げようとしている。 ----- ★考えようとしない生徒については、作者の考えについて感想を記すよう指示する。
読む能力	②文章を叙述に即して読み取り、要約する。	②イースター島から森が消えた理由と、その教訓を簡潔にまとめている。	記述の分析	☆文章の要点をおさえながら、イースター島から森が消えた理由と、その教訓を簡潔にまとめている。 ----- ★まとめることができない生徒については、新しい木が育たない理由と、教訓の部分を指摘し、教科書に傍線を引くよう指示する。
知識・理解	③主な常用漢字について、文章の中での適切な使い方を理解する。	③主な常用漢字の文脈に応じた適切な使い方を身につけている。	記述の点検	----- ★音訓の使い方が身につけていない生徒には、辞書を用いて音訓を確かめ、文脈に応じて使い分けることを確認するよう指示する。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
コインは円形か		5〔読むこと〕	○レトリック感覚を身につけることが、現代社会でどのように必要になるのかを考える。 ○具体例からどのように結論につながっているか、その論理展開を読み取る。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイエ	〔言語事項〕ウ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①言語表現に対する関心をもつ。	①レトリックに関心を持ち、その効果について考えようとしている。	行動の観察	☆現代社会で必要とされるレトリック感覚とは何か、その効果を考え、必要性を理解しようとしている。 ----- ★レトリックの効用について考えようとしていない生徒には、自分のことばと考えだけが正しいと主張する人がもたらす弊害について具体的に考えさせ、レトリックの必要性を認識できるよう助言する。
読む能力	②文章に用いられている表現技法の特徴をとらえる。	②筆者の主張や文章の内容をとらえ、レトリックとは何か理解する。	記述の分析	☆教科書の例示以外で、レトリックを用いた短文を作成している。 ----- ★レトリックとは何か理解できない生徒については、教科書の例をノートに写すよう指示し、異なる表現方法を考えるよう助言する。
知識・理解	③常用漢字の読みに慣れる。	③常用漢字の正しい音訓を身につけている。	記述の点検	----- ★音訓の正しい使い方が身につけていない生徒には、辞書を用いて音訓を確かめるよう指示する。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
シジミ		1〔読むこと〕	○比喩や表記の表現効果をとらえ、詩中の「私」の思いを明らかにする。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイウ	〔言語事項〕イ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①描かれた情景を想像し、「私」の心情をとらえ、読み味わう。	①時間や場所、細部の情景をとらえ、ここでの「私」の心情を理解し、自分の考えをもとうとしている。	行動の観察	☆描かれた情景を想像しながら、「私」の心情を理解し、自分の考えを深めている。  ----- ★シジミ・台所を取りあげている理由を考えさせ、笑いの意味をつかませる。
読む能力	②比喩や表記のもつ表現効果に注目し、描かれた情景や心情を読み味わい、人間や社会に対して、自分の考えをもつ。	②詩の表現の特殊性に気づき、その意味するところをとらえて、「私」の心情を理解し、社会や人間に対して考える。	記述の確認	☆詩独特の表現効果を理解し、情景を想像しながら、「私」の心情や書き手の思考をとらえ、自分なりの考えを深めることができる。  ----- ★シジミの様子や鬼ババの笑いの意味、カタカナ書きの表現効果を理解させる。
知識・理解	③詩の構成をとらえ、カタカナ書きの意味や表現効果を理解している。	③詩の構成、表記のしかたなどに着目し、表現上の効果を理解する。	行動の観察	☆各連の関係や表現の特徴ををとらえ、象徴的に表れている書き手の思考を考察することができる。  ----- ★一連ずつ情景を整理させ、特徴的な表現を抜き出させる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
汚れつちまつた悲しみに……		1〔読むこと〕	○繰り返し読んでリズムを味わうとともに、「悲しみ」の内容をとらえ、詩を味わう。	
この学習材の学習活動で重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイウ	〔言語事項〕アウ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①繰り返し音読することを通して、リズムを味わい、内容を理解し、読み方を工夫する。	①繰り返し音読し、リズムに注意し、詩に表現された感情を理解して、朗読している。	行動の観察	☆リズムに慣れ、「悲しみ」の内容やそこでの感情を理解したうえで朗読することができる。 ----- ★描かれた情景、心情などを表現に即して理解させ、詩の世界を読み味わわせる。
読む能力	②描かれた情景、心情などを表現に即して理解し、詩の世界を読み味わう。	②情景を想像し、各連の「悲しみ」に注目して内容を理解するとともに、そこに表れている心情をとらえ、考察している。	記述の確認	☆描かれている場面や「悲しみ」の意味を把握し、ここでの心情を理解し、自分の思考を豊かにしている。 ----- ★目的や場に応じた表現の工夫、ことば遣いを理解させる。
知識・理解	③目的や場に応じた表現の工夫、ことば遣いを理解する。	③相手のない独白の文体の特徴をつかみ、表現やことば遣いに即した朗読をする。	行動の観察	☆文や各連の内容を把握し、その内容に応じて、速度や抑揚、間に注意して朗読することができる。 ----- ★目的や語りかける相手、書き手の心情を考えさせ、ふさわしい音読の練習をさせる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
故事成語		8〔読むこと〕	○何度も繰り返し音読して、漢文の特徴について考える。 ○何度も繰り返し音読し、故事成語の意味について理解を深める。	
「故事成語」の学習活動で重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイエ	〔言語事項〕エオ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①漢文の特徴について考える。	①漢文独特のリズムに注意しながら、音読しようとしている。	行動の観察	☆普通の文語文法では扱われない、漢文特有の伝統的な読み方についても理解している。 ----- ★漢文の音読が難しい生徒には、歴史的仮名遣いのきまりを復習するよう指示する。
読む能力	②文章の内容を確かめながら漢文を読む。	②書き手の意図や主張をとらえながら、文章を読んでいる。	記述の点検	☆文章から、書き手の意図や主張を的確に読み取っている。 ----- ★文章の内容が理解できない生徒には、繰り返し口語訳を読むよう指示する。
知識・理解	③漢文の訓読のきまりについて理解する。	③漢文の訓読に必要な、返り点などのきまりを理解している。	行動の観察	☆返り点や送り仮名、句読点などに関する訓読のきまりを、正確に理解している。 ----- ★返り点のきまりが理解できない生徒には、改めて書き下し文と漢文を比較するよう指示する。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容		
徒然草 公世の二位のせうとに／高名の木登り		3〔読むこと〕	○できごとの原因や経過をたどりながら、登場人物の性格を読み取り、感想をもつ。 ○会話に注意して場面の様子をとらえ、人の心のもちようについて考えを深める。		
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cウ	〔言語事項〕エ	
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例	
関心・意欲・態度	①人々が良覚僧正のことをどのように思っていたのか話し合う。 ②「木登り」と「鞠」の共通点について話し合う。	①人々が良覚僧正のことをどのように思っていたのか意見を出そうとしている。 ②「木登り」と「鞠」の共通点について意見を出そうとしている。	発言の観察	☆場面を的確にとらえ、意見を発表している。 ----- ★自分の意見を出すことができない生徒に対しては、できごとの経緯をノートにまとめさせる。	
読む能力	③それぞれの呼ばれ方になった原因を読み取る。 ④物語に隠された教訓の意味を読み取る。	③良覚僧正が、それぞれの呼ばれ方になった原因を読み取り、まとめている。 ④登場人物のことばの意味を理解し、その意図を読み取っている。	記述の分析	☆物語の内容や作者の意図を理解し、自分の意見をもつことができる。 ----- ★それぞれの呼ばれ方の原因、登場人物の意図が読み取れない生徒に対しては、他の生徒の意見をまとめてノートに書かせる。	
知識・理解	⑤「徒然草」の文学史的意義を理解する。 ⑥重要古語の意味を理解する。	⑤「徒然草」の文学的意義について理解している。 ⑥重要古語の意味を整理し、理解している。	記述の確認	☆重要語句の意味を理解し、現代語に訳すことができる。 ----- ★重要語句の意味が理解できていない生徒に対しては、それぞれの場面での意味を書き出させる。	

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
枕草子 五月ばかりなどに／雪のいと高う降りたるを		3〔読むこと〕	○キーワードに着目して、筆者のものの感じ方をとらえ、味わう。 ○人物の行動とその理由をとらえ、宮中の生活の様子を読み取る。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cエ	〔言語事項〕エ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①音読しながら、文章の特徴やキーワードを発見し、季節感を理解する。 ②筆者が「をかし」ととらえた「美」の瞬間を自分の感覚と照らし合わせて考えている。	①音読しながら、「をかし」が文末表現として繰り返されていることに気づき、その対象をつかんでいる。 ②視覚・触覚・嗅覚でとらえた「をかし」の感覚であることを理解し、味わっている。	行動の観察 記述の確認	☆「をかし」と評されている対象は何かを指摘できる。 ☆どんな感覚でとらえた「美」かを指摘できる。 ----- ★主語・述語など基本的な関係をおさえ、何が「をかし」なのかをしばらせる。 ★牛車の中に筆者がいることを示し、そこで感じられる「美」であることに気づかせる。
読む能力	③情景を浮かべながら、場面や人物の動きをとらえる。 ④人物の言動に注意して、主語をつかみ、行動の意味を理解する。	③牛車に乗っての外出であり、筆者がその中からとらえた瞬間であることを理解している。 ④中宮の問いかけと筆者の機知の意味、機知に対する評価を理解している。	行動の観察 記述の確認	☆筆者の描写の具体性や観察眼の鋭さに気づき、情景や心情を的確に把握している。 ☆中宮定子の問いかけの意図はどこにあったかがわかる。 ----- ★内容把握ができない生徒に対しては、口語訳を写させ、展開をまとめさせる。 ★展開図を活用し、文章の流れを整理する。
知識・理解	⑤「の」の訳し方に何通りかあることを理解する。 ⑥助動詞の訳し方を理解する。 ⑦後宮での中宮定子と女房たちの関係を理解する。 ⑧『枕草子』の文学史的意義を理解する。	⑤「の」に注目しながら口語訳している。 ⑥助動詞が文章の表情に意味をもつことを理解している。 ⑦登場人物とそれぞれの関係を、「人々」の評価からつかみ、中宮定子の後宮がどういうものだったかを考えている。 ⑧『枕草子』の文学史的意義を理解している。	行動の観察	☆随筆作品の特徴を的確に理解している。 ☆文章の主語や文法事項に注意して口語訳することができる。 ☆中宮定子のサロンの空間を理解している。 ----- ★文法事項が理解できない生徒に対しては、プリントなどで復習させる。 ★便覧などの『枕草子』の解説を読ませる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
この本を読んでみて！ ーブックガイドー		6〔書くこと〕	○自分の好きな本、おもしろいと感じた本を「チラシ」をつくって紹介する。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Bアイ	〔言語事項〕ア
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①表現や構成を工夫し、魅力ある文や文章を書こうとする態度を身につける。	①読み手にわかりやすく、不快感を与えないことば遣いを工夫し、魅力ある「チラシ」を書こうとしている。	記述の確認	☆全体に統一感をもたせ、使用する語を吟味して、紹介する本の魅力がよく伝わる「チラシ」を書こうとしている。 ----- ★「チラシ」を書きだせない生徒に対しては、教科書の例を確認させたり、身近なチラシを思い出させ参考にさせる。
書く能力	②情報を整理し、効果的な表現を用いて読み手の関心を集める「チラシ」を書く。	②紹介する本の魅力を整理し、キャッチコピーやレイアウトを工夫し、読み手の関心を集める「チラシ」を書いている。	記述の分析	☆紹介する本の魅力をよく分析し、読み手に強く訴えかけるキャッチコピーを考え、紙面を有効に活用し、読み手の関心を集める「チラシ」を書いている。 ----- ★キャッチコピーとそれに続く文や文章が対応しない生徒に対しては、もう一度表現したい内容を整理、確認させる。
知識・理解	③場面や目的に応じた書き方やことば遣いを理解し、身につける。	③読み手を意識し、興味をもたせるような書き方やことば遣いを身につけている。	記述の点検	☆広く読まれることを意識し、一つ一つのことばのもつ意味やイメージを考えながら、読み手に興味をもたせる「チラシ」を書いている。 ----- ★相手に不快感を与えると思われることばや一般的には用いられないことばを用いている生徒に対しては、辞書等を活用し、適当な語を探させる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
羅生門		6〔読むこと〕	○追いつめられた状況の中での、人間の考え方や心の動きについて考える。 ○場面の推移や比喻表現に注意しながら、主人公の心理の移り変わりをとらえる。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイウ	〔言語事項〕アウ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①人物の心情や行動を理解し、場面の推移をとらえ、人間の生き方について自分なりの考えをもつ。	①下人のおかれていた状況、老婆の考え方、二人の行動や心情の変化、場面の推移を理解し、自分の考えをもとうとしている。	行動の観察	☆作品世界を理解し、下人のその後の物語を考えることなどを通して、人間の生き方について考えを深めている。 ----- ★小説の設定、下人や老婆の行動・会話を整理させ、作品世界の状況や人物の考え方を理解させる。
読む能力	②描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	②比喻表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認	☆動物にたとえられた意味や「作者」という語のここでの意味を理解し、下人や老婆の状況・考え方・その変化をとらえている。 ----- ★下人と老婆の行動や会話を場面に沿って表などにまとめ、整理させる。
知識・理解	③常用漢字の音訓や意味を理解し、読んだり書いたりし、短文などの中で使用する。	③出てくる常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書けるようになる。	行動の観察	☆常用漢字に興味をもち、理解し、自分の表現の中で使用することができる。 ----- ★本文を音読することで読めるようにし、書ける常用漢字を増やしていく。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
情報洪水は現代の焚書		5〔読むこと〕	○情報化社会の問題点について考える。 ○指示語に注意して論の展開・論旨を読み取る。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cア	〔言語事項〕ウオ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①情報化社会について考える。	①情報化社会の問題点について考えようとしている。	行動の観察	☆文章をふまえた情報化社会の問題点を考察し、改善する方策や、その他の問題についても考えを広げようとしている。 ----- ★情報化社会の問題点について考えようとする生徒については、膨大な情報がただ蓄積されることがどのような問題をもたらすか考えるよう助言する。
読む能力	②恣意的な読みにならないよう、筆者の考えを過不足なくとらえる。	②焚書やデジタル情報機器に関する用語に注意し、デジタル情報の短所を読み取っている。	記述の確認	☆焚書の意味を理解し、蓄積された膨大な情報と共通点をとらえ、「新種の焚書」とは何か理解している。 ----- ★情報の洪水がもたらす現象を読み取れない生徒には、その部分を指摘し、教科書に傍線を引かせ、ノートに写すよう指示する。
知識・理解	③語句や語彙の構造的なしくみを理解する。	③和語、漢語、外来語の特徴を理解している。	記述の点検	☆段落論旨の要約は板書→添削→確認(清書)して、書き方の訓練を行う。評論文の論理構成も作業を通して理解していく。 ----- ★それぞれの特徴が理解できない生徒については、その違いを明確にできる語句を具体的に示す。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容		
表現の窓4－情報の読み方・扱い方		6〔書くこと〕	○グラフや表などの資料から情報を正確に読み取り、その情報をいかして自分の考えを文章にまとめる。		
重点的に指導する学習指導要領の内容			Bアイ	〔言語事項〕イウ	
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例	
関心・意欲・態度	①さまざまなメディアを利用して必要な情報を収集し、その情報を活用して自分の考えを積極的に述べようとする態度を身につける。	①図書館やコンピューターを利用した情報の収集ができ、その情報が伝えようとする内容が理解できる。	行動の観察 記述の確認	☆図書館やコンピューターを利用して必要な情報を収集し、それを根拠に自分の意見を述べることができる。 ----- ★図書館やコンピューターを利用した情報の収集の仕方を理解させる。	
書く能力	②アンケート調査結果や統計資料に示されたグラフや表から得られた情報に基づいて自分の意見を文章にまとめることができる。	②グラフや表から読み取った内容を数値で示して、自分の考えを述べようとしている。	記述の確認	☆自分が主張したいことが明確で、しかもその主張がグラフや表から得られた情報を根拠としている。 ----- ★テーマについての自分の問題意識、グラフや表から読み取れる特徴、自分の意見をそれぞれ簡条書きで書かせる。	
知識・理解	③アンケート調査結果や統計資料に示されたグラフや表の分析方法を理解する。	③グラフや表から特徴的な傾向をつかむことができる。	記述の確認	☆複数のグラフや表の特徴的な傾向を関連づけることができる。 ----- ★グラフや表から読み取れる特徴の中で重要なものはどれかを考えさせる。	

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
伊勢物語－筒井筒－		3〔読むこと〕	○場面と歌の関係を明らかにし、人物の心情とその変化をとらえる。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cウ	〔言語事項〕エ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①当時の文化や美意識を味わう。	①当時の文化や美意識、愛のあり方を味わおうとしている。	発言の観察	☆当時の文化や美意識、愛のあり方を読み取り、自己の人生について考えようとしている。 ----- ★当時の文化が思い描けない生徒に対しては、図書館などで当時の風俗について調べさせる。
読む能力	②登場人物の心情と和歌との関係を読み取る。	②三首の和歌には、それぞれだれのどのような気持ちが込められているのか読み取っている。	発言の分析	☆男の心情の推移とその原因を的確に読み取り、それぞれの人物の行動の意味を理解している。 ----- ★三種の和歌が理解できていない生徒に対しては、人物の心情を読み取らせ、それが和歌に反映されていることに気づかせる。
知識・理解	③『伊勢物語』の文学史的意義を理解する。 ④和歌の修辞を理解する。	③『伊勢物語』の文学史的意義を理解している。 ④和歌の修辞を理解している。	記述の確認	☆歌物語の特徴を理解し、『伊勢物語』の文学史の上での位置を把握している。 ----- ★歌物語の特徴が理解できていない生徒に対しては、この物語における、和歌の重要性に気づかせる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
うたう心 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集		3〔読むこと〕	○意味の切れ目に注意して音読し、作品世界をイメージ豊かに味わう。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイウ	〔言語事項〕 イエオ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①歌の調子に気をつけて、音読する。	①歌の調子、意味の切れ目に注意して音読し、作品世界を味わおうとしている。	行動の観察	☆作品世界を味わい、音読に生かしている。  ----- ★意味の切れ目が理解できていない生徒に対しては、切れ目をメモさせ、それに従って音読させる。
読む能力	②それぞれの歌に描かれた情景と思いを説明する。	②それぞれの歌に描かれた情景と思いを読み取り、説明している。	発言の確認	☆それぞれの歌に描かれた情景や思いを読み取り、自分なりに工夫して発表している。  ----- ★歌に描かれた情景と思いが読み取れていない生徒に対しては、それぞれの歌の中心となる語句を指摘させる。
知識・理解	③『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の文学史的意義を理解する。 ④和歌の修辞について理解する。	③『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の文学史的意義を理解している。 ④和歌の修辞について理解している。	記述の確認	☆和歌の修辞を的確にとらえ、修辞の重要性を理解している。  ----- ★和歌の修辞が理解できていない生徒に対しては、修辞を使うことで作品に奥行きが生まれていることに気づかせる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
漢詩の世界		6〔読むこと〕	○返り点に注意して音読し、詩の世界のイメージをひろげる。	
学習活動で重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイエ	〔言語事項〕エオ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①想像力をはたかせながら漢詩を読む。	①音読をとおして、詩のイメージをひろげようとしている。	行動の観察	☆作者の思想を十分に読み取り、その内容が聞き手にも伝わるような音読の工夫をしている。 ----- ★詩のイメージがつかめない生徒には、繰り返し音読するよう指示する。
読む能力	②漢詩に描かれている場面や風景を読み味わう。	②作品に描かれている情景から、作者の心情を読み取っている。	行動の観察	☆読み取った作者の心情に、自らの生き方を重ね合わせ、共感したり反発したりしている。 ----- ★作者の心情を読み取ることが難しい生徒には、場面や風景をそのつど確認しながら、漢詩を読むよう指示する。
知識・理解	③漢詩のきまりについて理解する。	③形式や押韻などの、漢詩のきまりを理解している。	行動の観察	☆句の構成や押韻を、詩の形式ごとに正確に理解している。 ----- ★句の構成や押韻が理解できない生徒には、詩の形式を再度確認するよう指示する。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
表現の窓5 ―一分間コマーシャル		3 〔話すこと・聞くこと〕	○アピールしたい内容を、一分間で相手に印象的に伝える。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Aイ	〔言語事項〕アオ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法 (材料)	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①言語の役割について考える。	①人がことばをもつ意味を、伝達の面から考えようとしている。	行動の観察 (CM)	☆人がことばをもつ意味を、伝達以外に、思考や認識や創造の面からも考えようとしている。 ----- ★人がことばをもつ意味を考えようとしていない生徒には、ことばのはたらきを考えるよう指示する。
話す・聞く能力	②聞き手の存在を意識しながら、話をする。	②効果的に伝えるために、相手にわかりやすく話している。	行動の観察 (CM)	☆聞き手の理解や納得を得られるように、より効果的な話し方の工夫をしている。 ----- ★ただ単に自分の話を一方的にする生徒には、聞き手をきちんと意識するように注意を促す。
知識・理解	③発表のために様々な情報を収集し、活用する方法を理解する。	③収集した情報を、発表の内容に応じて整理する方法を身につけている。	記述の確認 (CM計画)	☆収集情報を発表の内容に照らして吟味し、その価値や関係から整理を行い、発表の趣旨を支えるために再度組み込んでいる。 ----- ★情報の整理が難しい生徒には、情報を必要によって取捨選択するよう指示する。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容		
緑のカイ		5〔読むこと〕	○ふしぎな体験を経て変化する人物の様子を読み味わう。 ○主人公の行動や心理を手がかりに、作品が象徴するものを読み取る。		
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイウ	〔言語事項〕イウ	
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例	
関心・意欲・態度	①独特の作品世界に親しみ、人物や情景を読み取り、読むことの楽しさを経験する。	①描かれた情景や人物像を読み取り、作品世界の特徴や感想を発表し、話し合っている。	行動の観察	☆小説の特徴を理解し、自分なりの感想をもち、相互に話し合うことができる。  ★場面ごとの情景を想像し、麻智の視点によるカイの会話や行動の意味を考えさせる。	
読む能力	②ふしぎな体験の内容をとらえ、麻智と理沙の人物像や描かれている情景、心情などを理解し、作品の象徴しているものを読み取る。	②緑のカイと麻智とのかかわりを時の経過の中で理解し、麻智の心の変化をとらえ、緑のカイとの別れの意味を読み取っている。	記述の確認	☆場面をイメージ豊かに読み味わい、麻智や理沙の人物像を理解し、緑のカイの存在の意味をとらえている。  ★場面を追って情景を整理し、麻智や理沙の行動や会話、心情を理解させる。	
知識・理解	③文や文章の組み立て、語句の意味、用法および表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。	③文章の展開をとらえ、語句の意味やイメージの広がりを考えている。	行動の観察	☆段落相互の関係をとらえて小説世界の展開を理解し、表現された語句をもとにイメージ豊かに読むことができる。  ★段落に分けられたそれぞれの場面を読み取らせ、使われている語句に注目させる。	

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
表現の窓6－「自分」再発見		4〔書くこと〕	○初対面の人に、自己紹介するための短い文章を書く。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Bアイ	〔言語事項〕アウ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①さまざまな観点から自分をとらえ、題材を整理し、文や文章にまとめようとする態度を身につける。	①自分を分析するための観点を見つけて具体的な内容を書き出し、必要なものを選び、文や文章にまとめようとしている。	記述の確認	☆多くの自己分析のための観点を見つけ、具体的な体験や考えたことを書き出し、より効果的な題材に絞って文章を書こうとしている。 ----- ★自己分析の観点が見つけれない生徒に対しては周囲の友達と相談させ、具体的な体験や考えたことなどを書き出させる。
書く能力	②題材を整理し、効果的な表現を考えて、読み手に自分を強く印象づける簡潔な文章を書く。	②決められた範囲内で自分を表現するために、題材を整理し、表現を工夫しながら読み手がよりよく自分を理解するような文章を書いている。	記述の分析	☆初対面の人に自己紹介することを意識し、多くの題材の中からより印象を強めるものを選び、適当な分量の文章にまとめている。 ----- ★文章の量が多すぎる生徒に対しては、もう一度扱う題材を検討させる。
知識・理解	③与えられた状況の中で、的確に情報を伝えるための書き方やことば遣いを理解し、身につける。	③400字程度の範囲内で読み手に自分を理解してもらうために、ことばを選び、述べる順序を工夫することを理解している。	記述の点検	☆具体的な体験や考えたことを折り込み、記述する題材の配置に工夫して流れのある文章を書いている。 ----- ★記述された題材にまとまりがない文章を書いた生徒に対しては、柱となる題材を絞らせ、範囲内で詳細に記述させるようにする。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
縁—アフガニスタンとのかかわり		5〔読むこと〕	○筆者とアフガニスタンとのかかわりをとらえ、人間の生き方について考えを深める。 ○それぞれのエピソードを明らかにし、筆者の見方をとらえる。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cアエ	〔言語事項〕アウ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①文章を過不足なく読み取る工夫をする。	①筆者とアフガニスタンとのかかわりについて、文章の要点をおさえながらまとめようとしている。	行動の観察	☆年代ごとに筆者の行動を整理し、アフガニスタンと筆者のかかわる縁について簡潔にまとめようとしている。 ----- ★まとめようとしない生徒については、学びの道しるべを利用し、空欄をうめる作業から筆者の行動を整理するよう指示する。
読む能力	②筆者の人生にふれ、人間の生き方について考えを深める。	②筆者の人生をとおして、人間の生き方や縁について、自分の考えを深めている。	記述の確認	☆自身の出会いと別れ、縁について考え、「人は生きているのではなく、生かされている」という筆者の意見について、自分の考えをもっている。 ----- ★人間の生き方や縁について考えられない生徒については、自身の心に残る出会いや人物について具体的にあげるよう助言する。
知識・理解	③常用漢字について使い方を理解する。	③常用漢字の正しい使い方を身につけている。	記述の点検	----- ★正しい使い方が身につけていない生徒には、教科書の言語ウィンドウやことばのエクササイズに取り組むよう指示する。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
表現の窓7ー討論を楽しもう		4 〔話すこと・聞くこと〕	○お互いの意見に耳を傾け合って、よりよい考えを導き出す話し合いの大切さを理解すること。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Aアイウ	〔言語事項〕ア
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法 (材料)	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①積極的に討論に参加する姿勢を身につける。	①発言内容をメモし、筋道を立てて意見を述べようとしている。	行動の観察 (討論)	☆図書館やインターネットを利用して、討論の課題に関する情報を集め、意見をより確かなものになっている。 ----- ★積極的に討論に参加できない生徒には、発言したい内容のメモをつくったり、箇条書きで書かせたりする。
話す・聞く能力	②適切な態度で話したり、聞いたりする力を身につける。	②相手の話をよく聞き、討論の場にふさわしいことば遣いで意見を述べている。	行動の観察 (討論)	☆メモを取りながら相手の話を聞き、理由や根拠を明確にして自分の意見を述べている。 ----- ★適切に聞くことができない生徒には、話し合いが「聞き合い」であることを理解させ、相手の話をメモを取って聞くように指示する。
知識・理解	③討論の方法について理解する。	③自分の立場を明確にして、論題(テーマ)にそって発言しようとしている。	行動の観察 (討論)	☆論点をしっかりと把握し、問題点を整理しながら発言している。 ----- ★討論の方法が理解できない生徒には、まず討論のやりとりをきちんと聞き取ることから始めさせる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
平家物語 一木曾殿の最期		6〔読むこと〕	○会話の内容と意図を明らかにし、人物のものの見方や生き方をとらえる。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイウ	〔言語事項〕エオ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①語り物独特のことば遣いや調子を味わう。	①語り物独特のことば遣いや、調子の美しさを感じ取ろうとしている。	行動の観察	☆和漢混淆文の特徴をとらえ、物語の展開や合戦のスピード感を味わっている。  ----- ★語り物のリズムがつかめない生徒に対しては、生徒どうしにお互いの音読を聴かせ、調子の良さに気づかせる。
読む能力	②登場人物の人物像と心情を読み取る。	②木曾殿と今井四郎の人物像をまとめ、互いを思い合う気持ちを読み取っている。	発言の確認	☆人物像やその心情を把握し、現代に重ねて、人の生き方について考えを深めている。  ----- ★人物像がうまくつかめない生徒に対しては、それぞれの行動と心理を分けて表にまとめさせる。
知識・理解	③『平家物語』の文学史的意義を理解する。 ④敬語の意味と用法を理解する。	③『平家物語』の文学史的意義を理解している。 ④敬語の意味と用法を理解している。	記述の観察	☆物語全体を流れる理念を理解している。  ----- ★敬語の意味と用法が理解できない生徒には、人物関係をつかませることで、敬意の方向をとらえさせる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
桃花源記		8〔読むこと〕	○場面ごとに様子を丁寧に読み取り、桃花源のふしぎな世界を味わう。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cアエ	〔言語事項〕エオ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①漢文から読み取った内容について話し合う。	①作品を読んで、自分なりに理解したことについて、話し合おうとしている。	行動の観察	☆読み取った内容や自分の考えを、積極的に発言し、話し合おうとしている。 ----- ★話し合うことが難しい生徒には、ほかの生徒の話の内容を参考にするよう指示する。
読む能力	②漢文を読むことで、ものの見方や考え方を広げる。	②作品を読みながら、共感したり、疑問に思ったり、思索をしたりしている。	記述の点検	☆文章から読み取ったことを踏まえた、人間や社会に対する自分なりのきちんとした考えをもっている。 ----- ★自分なりの考えがもてない生徒には、口語訳を与えて、作品を改めて読み直すよう指示する。
知識・理解	③漢文との比較を通じて、国語の成り立ちを理解する。	③漢文固有の音韻や語句の特徴についての理解を深めている。	記述の点検	☆和語と漢語や外来語の特徴や、漢文の押韻や語彙や文法などについても、十分理解している。 ----- ★漢文の語句の特徴が理解できない生徒には、和語と漢語の違いについて、実例をあげて示す。

学習材名		配当時間〔領域〕	「新聞に投書してみよう」で学習したい主な内容		
新聞に投書してみよう		6〔書くこと〕	○身のまわりや社会に目を向け、気づいたことに対する意見を文章にまとめる。 ○自分の意見を事実や体験に基づいて客観的に述べる。		
重点的に指導する学習指導要領の内容			Bイウ	〔言語事項〕イウ	
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)		評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①身のまわりや社会に目を向け、気づいたことに対する意見を積極的に文章にまとめる態度を身につける。	①身のまわりや社会に目を向け、そこから問題を発見しようとしている。		行動の観察及び発言の確認	☆身のまわりや社会に目を向け、そこから問題を発見し、積極的に文章にまとめようとしている。 ----- ★投書のテーマを見つけられない生徒には教科書にある「十歳代の投書」(教科書156～157ページ下段)の中からテーマを選ばせる。
書く能力	②文章の組み立てや題名のつけ方に留意して、わかりやすい文章を書く力を身につける。	②書かれた投書が教科書156～157ページの「投書を書くための留意点」をおおむね満たしている。		記述の確認	☆書かれた投書が教科書の「投書を書くための留意点」をすべて満たしている。 ----- ★書かれた投書が教科書の「投書を書くための留意点」を満たしているかどうか、一つ一つ確認させる。
知識・理解	③不特定多数の人に読まれることを意識して、自分の意見をその根拠となった事実や体験をまじえながら文章にまとめる。	③自分の意見とその意見を裏付ける事実や体験が述べられている。		記述の確認	☆自分の意見とその意見を裏付ける事実や体験が明確に述べられ、しかも説得力もっている。 ----- ★教科書の投書例に基づき、書き手の意見とその意見の根拠となった体験がどこに書かれているかを指摘させる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
夢十夜		4〔読むこと〕	○夢の中のイメージの飛躍を楽しむ。 ○想像豊かに読み取り、独特の文体を味わう。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイエ	〔言語事項〕イウ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①「夢」として構成された一見荒唐無稽なイメージの連なりの中に、人間の存在の奥深さが表れている。現実とは異なるリアリティーの世界を読み取っていく中で人のこころというものの不可思議について考える。	①比喩や象徴的表現に興味をもって読解しようとし、「夢」というもののふしぎな世界に興味をもち、この作品を通じて考えを深めようと努めている。	行動の観察	☆テキストを読みながら、自分の中の夢のイメージと対照して考えを深めることができる。 ----- ★自分自身の見た夢の経験を思い起こし、夢のふしぎさと、夢のもつ意味について興味を喚起する。
読む能力	②「夢」の飛躍するイメージによってしか表現できない不可思議な心のあり方を、叙述を正確に追いながらつかんでいく。「夢」として構成された作品の意味についても考える。	②描かれている場面を的確に映像化し、具体的なイメージとしてとらえられる。また、「夢」の象徴的な表現から、その底に隠されている人間の根源的な願望についても考えをめぐらしている。	記述の確認	☆個々の語句が象徴的に表象している意味を的確にとらえ、そのイメージの底にある人間の願望との関連について考えることができる。 ----- ★順を追って場面を読み、映像的にとらえることができるよう、場面ごとに読み解かせる。
知識・理解	③基礎的な語彙と文章に即した慣用句、詩的な表現技巧などに慣れ、文章表現に生かせるようにする。	③一語一語が丁寧に組み立てられた作品であることを理解し、その中に使われている個々の語のイメージを正確に読み取ることができるとともに、ことばに対する感覚を豊かなものにしていく。	行動の観察	☆基礎的な語や慣用句だけでなく、詩的・象徴的な表現に興味をもち、自分の表現に取り入れて使用することができる。 ----- ★本文を情感を込めて音読し、作品の世界を表現できるようにさせる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
なめとこ山の熊		5〔読むこと〕	○物語の世界のおもしろさを十分に味わう。 ○童話の形をとった物語の中にこめられた生命観や人間観・自然観について理解を深める。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cウエ	〔言語事項〕イオ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①賢治作品の童話的な語り口のおもしろさに興味をもち、「なめとこ山」という特殊な舞台空間の中で展開される人間と動物の「共生」について考えをめぐらし、人間観を深める。	①童話的・民話的な賢治特有の語り口のおもしろさに興味をもち、またそれだけでなく、表現するうえで「語り」が「主題」と密接にかかわっていることを理解して内容に関心を深めている。	行動の観察	☆テキストを〈語り手〉の視点から読み、興味・理解を深めている。 ----- ★特に冒頭の導入部分における主人公と熊たちとの交流の描写のおもしろさについて感じ取れるように工夫をこらす。
読む能力	②「なめとこ山の熊のことならおもしろい」で始まる民話的な語り口のおもしろさと、そういう形式によってしか表現できなかった人間と自然との関係を読み解く。	②「小十郎」とそれぞれの「熊」の思いを場面場面において的確に理解している。また、それぞれの場面における〈語り手〉の思い(楽しさ・共感・同情・怒り・悲しみ・祈り等)についても理解できている。	記述の確認	☆寡黙な主人公の行動を通して、その人間性を理解している。 ----- ★「語り」のおもしろさに慣れ、理解を深めることができるように、丁寧に音読をさせる。
知識・理解	③常用漢字の音訓や意味を理解し、読みの能力を高めるとともに、この作品に頻用されている「方言」の意味についても理解を深める。	③「方言」を使用することによって広がることばの豊かな世界について理解を深めている。	行動の観察	☆「方言」が文中で果たしている重要な意味について理解している。 ----- ★「方言」や自然描写のおもしろさについて感じ取らせる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容		
破船		5〔読むこと〕	○厳しい境遇を必死に生き抜いていく主人公の心情とその生き方とを読み味わう。 ○簡潔で抑制のきいた文章の魅力にふれる。		
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cイウ	〔言語事項〕イ	
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例	
関心・意欲・態度	①想像力を発揮し、作品世界を思い描く。	①作品に描かれた状況を把握し、その作品世界を思い描くことができる。	発言の確認	☆作品の世界に入り込み、人物のおかれた状況を生き生きと思い描くことができる。 ----- ★作品の長さに困難を感じる生徒には、段落ごとにその内容を図式で整理するなどして、支援する。	
読む能力	②物語の展開に即して登場人物の心情を読み取り、それに対する感想や意見をもつことができる。	②表現に即して登場人物の心情を的確に読み取ることができる。	発言の確認	☆作品に描かれている状況をふまえて登場人物の心情を的確に読み取り、小説を楽しむとともに、それを批評することができる。 ----- ★読解の苦手な生徒には、場面ごとに留意すべき表現を指摘し、それを手がかりにして、登場人物の心情に迫らせる。	
知識・理解	③内容と関連づけて表現の特徴をとらえ、その効果について考察する。	③文の長さの特徴を理解し、その効果について考えることができる。	記述の確認	☆思い入れを排した簡潔な表現が、人物の心情を端的に浮かびあがらせていることがわかり、それが説明できる。 ----- ★手がかりに悩む生徒には、文の長さを調べる作業的な課題を課すなどし、表現の特徴を把握させる。	

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
ねぎを刻む		3〔読むこと〕	○都会の生活とその孤独について、想像し味わう。 ○具体的な行動をとおして、主人公の心情を読み取る。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cウエ	〔言語事項〕イウ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①状況や人物について関心を抱き、現代に生きる人間共通の課題を把握する。	①「わたし」にとっての「孤独」の意味を把握し、同時代を生きる人間としての共感や課題を意識できる。	行動の観察 発言の分析	☆主人公の状況を想像力豊かに思い描くことで、その心情についての共感的理解と、現代社会の課題についての発展的考察を行うことができる。 ----- ★内容に対する関心の希薄な生徒には、「孤独を感じる時」などの課題を設定し、主人公の「孤独」との比較を通じて、関心を喚起するなどの支援を行う。
読む能力	②朗読を通じて読みを深めるとともに、描かれた人物、情景、心情などを、表現に即して的確に読み取る。	②表現に即して、人物像や情景、心情を的確に読み取り、文脈の中でその意味合いを把握することができる。	行動の観察 発言の分析	☆表現に即して、人物像や情景、心情および文脈上の意味合いを適切に把握し、それを反映させた朗読ができる。 ----- ★広い範囲での読み取りが困難な生徒には、スモールステップで、部分ごとに区切った読解作業を行うなどの支援をする。
知識・理解	③語彙を豊かにするとともに、常用漢字の音訓や意味を理解して身につける。	③使用されている語句の意味がわかり、出てくる常用漢字の読み書きができる。	記述の確認	☆使用されている語句を的確に使いこなし、出てくる常用漢字の読み書きを適切に行うことができる。 ----- ★語意の確認を辞書で行うとともに、短文演習や書き取りなどの課題を準備し、支援する。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
開いた窓		2〔読むこと〕	○登場人物の心理を想像しながら、物語のおもしろさを味わう。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cウ	〔言語事項〕ウ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①ストーリーの展開を楽しみながら文章を読み進む。	①ストーリーの展開に興味を抱き、進んで読み進もうとしている。	行動の観察	☆ストーリーの展開に即して、登場人物の心理やその言動の意味を把握している。 ----- ★読み取りの困難な生徒には、注目すべき記述を指摘し、正確な読解ができるように支援する。
読む能力	②小説の特徴をとらえ、それを楽しむことができる。	②小説の特徴に気づき、それをことばで表現することができる。	発言の確認	☆小説の特徴を分析的にとらえ、小説の構造との関連を理解している。 ----- ★理解の困難な生徒には、記述に関連させて他の生徒の特徴的な意見を示し、理解への糸口とする。
知識・理解	③常用漢字の読みと書き、慣用句などの語句の使い方に慣れる。	③文脈に応じた適切な読み方や文字の選択ができ、慣用句などの語句の適切な使い方がわかる。	記述の確認	☆内容をふまえた正確な音読、書き取りができ、慣用句などの語句を適切に使用することができる。 ----- ★適切な読み書きや慣用句などの使用法が身につけていない生徒には、正しい読み書きや使用法を、さまざまな形で繰り返し練習させる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
「祝福」のことば		2〔読むこと〕	○あいさつのことばをとおして、他者とのつながりについて考える。 ○キーワードに着目して、筆者の趣意をとらえる。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cエ	〔言語事項〕イ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①筆者の趣意(思い)を理解し、あいさつのことばを通じて、他者とのつながりについて、考察する。	①筆者の趣意について理解し、他者とのつながりについて、自己にひきつけて考えようとしている。	行動の観察	☆本文の趣意について理解し、「人が人にかかわること」を自分の問題として考察し、発表できている。 ----- ★本文の趣意について考えようとしていない生徒については、あいさつやことばについての身近な問題を取りあげて、助言する。
読む能力	②态意的な読みにならないよう、段落・キーワード・指示語等を的確に理解し、筆者の考えを過不足なくとらえる。	②「おはよう」・「こんにちは」の区別(前段)を把握し、筆者の考察(後段)を段階を追って理解している。	記述の確認	☆本文の趣意を把握し、「こんにちは」と「祝福」の関係を理解し、ノートに整理できている。 ----- ★「こんにちは」と「祝福」の考察が読み取れない生徒には、その部分を指摘し、教科書に傍線を引かせ、ノートに写すよう指示する。
知識・理解	③引用文を理解し、語句や語彙の構造的なしくみを理解する。	③引用文・祝福・あいさつ等の意味を、本文の趣意にそって理解している。	記述の点検	☆引用文と筆者の趣意を関係づけて理解し、語句や語彙についても十分に習得している。 ----- ★引用文や展開が理解できない生徒については、キーワードを丁寧に説明し、筆者の趣意を明らかにする。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
ツゴイネルワイゼン		3 [話すこと・聞くこと] [読むこと]	○思い出の曲を通じて語られる一つの時代を思い描き、戦争と平和について考える。 ○二つの思い出を整理し、筆者の思いを明らかにする。 ○課題に基づいて文章を書き、わかりやすく発表する。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Aイ Cウ	〔言語事項〕ア
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①状況と人物のかかわりについて注意を払いながら文章を読む。	①豊かな想像力で、描かれた場面を思い描き、それぞれの場面における人物の思いをとらえて文章を読もうとしている。	行動の観察	☆場面ごとの状況とそれを背景にした人物の思いを把握し、正確に読み味わおうとしている。 ----- ★読み取りの困難な生徒には、スモールステップで、具体的な記述を指摘しながら、正確な読解ができるように配慮する。
読む能力	②一つ一つのエピソードが語っていることの意味がわかる。	②それぞれのエピソードを意味のまとまりと考え、その意味を記述をふまえて読み取ろうとしている。	発言の分析	☆それぞれのエピソードが文脈の中でもつ意味を正確にとらえ、文章全体の中に位置づけることができる。 ----- ★細部にこだわりすぎたり、逆に独善的な読みに陥りがちな生徒には、エピソードの中のポイントとなる記述を示し、授業の焦点化を図る。
知識・理解	③目的や場に応じた話し方や的確に聞き取る力を身につける。	③相手の立場を考慮し、発表の方法や態度を工夫できる。話を聞き取り、的確に評価することができる。	行動の観察 発言の分析	☆相手の立場に立って、わかりやすく説得的な話し方ができる。話のポイントをきちんととらえ、的確な評価ができる。 ----- ★発表の苦手な生徒、聞くときに集中できない生徒には、あらかじめ発表のポイント、聞くときのポイントをそれぞれ一点に絞って示し、集中力を高めるような支援を行う。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
麦わら帽子のへこみ		3 [話すこと・聞くこと] [読むこと]	○短歌の世界を「共感」と「驚異」という視点からとらえ味わう。 ○引用されている作品に、人を感動させるための要素がどのように入っているかを具体的に理解し、それぞれの作品の構造を理解する。 ○豊かな言語表現を行おうという意識を高める。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Bウ Cアイ	〔言語事項〕イ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①短歌に興味をもち、筆者の考え方に興味をもつ。	①筆者が段階を追って説明している内容を、順序立てて理解している。	行動の観察	☆筆者の論理的な鑑賞方法を理解し、自分のことばで説明できる。 ----- ★読み取りの困難な生徒には、改作された短歌とよとの短歌を比較してその違いに気づかせるように助言する。
読む能力	②引用されている作品に、人を感動させる「共感」と「驚異」の要素がどのように入っているかを具体的に理解し、それぞれの作品の構造を理解する。	②感動をもたらす短歌がどのような構造をもっているかを、筆者の用いている比喩に即して読み取ろうとしている。	発言の分析	☆筆者の短歌に関する分析を正確にとらえたうえで、筆者の比喩の巧みさを説明している。 ----- ★比喩の意味がよくわからない生徒には、短歌における「クビレ」について、引用歌以外からも例示をして指導する。
知識・理解	③短歌に関する基礎的な知識を身につける。	③短歌の基礎的な構造を理解し、文語的な表現も理解している。	行動の観察 発言の分析	☆短歌の実作において筆者の指摘するような要素をもりこんでいる。 ----- ★短歌そのものがうまく作れない生徒には、有名な作品を書写させたり、暗記させたりして理解を深めさせる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容	
うたはめぐる		2 [話すこと・聞くこと] [読むこと]	○俳句をめぐるエッセイをとおして、俳句の楽しさにふれる。 ○引用されている句と鑑賞文との関係を明らかにして、その句の表現している世界を理解する。	
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cアイエ	〔言語事項〕イ
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例
関心・意欲・態度	①俳句や季語に興味をもち、自分の感想や意見をもたせる。	①それぞれの俳句や季語について、想像力をはたらかせながら文章を読もうとしている。	行動の観察	☆筆者の鑑賞の深さ、独特さについて考え、意見を述べている。 ----- ★読み取りの困難な生徒には、まず俳句だけを取りあげて興味をもてるように配慮する。
読む能力	②引用されている句の内容を理解したうえで、文章の展開を的確にとらえる。	②筆者がそれぞれの俳句の意味を、どのように解釈しようとしているかを読み取ろうとしている。	発言の分析	☆筆者の俳句に対する鑑賞を正確にとらえたうえで、文章の展開と筆者の意見を理解している。 ----- ★筆者の鑑賞についていけない生徒には、まず俳句の基本的な意味をよく考えさせる。
知識・理解	③俳句の基礎的な知識を身につける。	③季語や切れ字など、俳句の基礎的な式目について理解している。	発言の分析	☆自分独自の引用句に対する鑑賞をもとうとしている。 ----- ★芭蕉や、正岡子規、高浜虚子の有名な句を紹介して、代表的な季語や切れ字についての知識を得させる。

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容		
浅茅が宿－私の古典散歩		1〔読むこと〕	○筆者が語る「浅茅が宿」の魅力を読み取り、「愛」について考える。 ○話題としての作品と、それに対する筆者の評価をとらえ、主題を明らかにする。		
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cウエ	〔言語事項〕イエ	
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例	
関心・意欲・態度	①古典作品に関心を持ち、その内容を理解しようとする。	①古典作品に興味を抱き、作品について調べたり、内容を理解したりしようとする。	行動の観察 記述の確認	☆古典作品に興味をもって作品について調べ、作品の内容をほぼ把握している。 ----- ★自分で調べることの困難な生徒には、補助的なプリントなどを準備し、内容の理解を支援する。	
読む能力	②引用されている古典作品の登場人物の心情を読み取るとともに、筆者の主張を把握する。	②古典作品のおおまかな読解に基づき、登場人物の心情を理解するとともに、筆者の主張を読み取ることができる。	記述の確認	☆古典作品の内容や登場人物の心情を理解するとともに、筆者の主張を的確に読み取っている。 ----- ★古典作品の内容と筆者の主張を分け、読解を支援する。	
知識・理解	③語彙に対する理解を深め、日常の言語生活を豊かにする。	③語彙を知り、それを適切に使うことができる。	発言の確認	☆文語のきまりや語彙を理解し、語句を楽しんで使ってみることができる。 ----- ★意味調べなどの作業をとおして、語彙についての理解も深めさせる。	

学習材名		配当時間〔領域〕	学習したい主な内容		
漢文に学ぶ―推敲		1〔読むこと〕	○故事成語が日常に生きていることについて思いを深める。 ○「事実の提示」と「思いの吐露」という文章のスタイルに即して、筆者の考えを読み取る。		
重点的に指導する学習指導要領の内容			Cアエ	〔言語事項〕イ	
評価の観点	学習活動の指導目標	学習活動の評価規準 (B「おおむね満足できると判断される状況」)	評価方法	☆A「十分満足できると判断される」生徒の例 ----- ★C「努力を要すると判断される」生徒とその指導の例	
関心・意欲・態度	①故事成語に関心を持ち、その意味と由来を調べることができる。	①故事成語に興味を抱き、進んで意味や由来を調べようとする。	行動の観察	☆故事成語について調べ、その意味と由来を理解している。 ----- ★自分で調べることの困難な生徒には、故事成語辞典を準備するなど、学習環境を整えて支援する。	
読む能力	②文章の構成に注意し、叙述に即して、筆者の主張を的確に把握する。	②叙述に即して、筆者の主張を読み取ることができる。	発言の確認	☆文章の構成を理解し、的確に筆者の主張を読み取ることができる。 ----- ★把握の困難な生徒には、ポイントが明確になるよう、文章の構成を図式化するなどして支援する。	
知識・理解	③日常生活の中に生きている故事成語を調べ、その意味や由来に関する理解を深めるとともに、それを使いこなせるようにする。	③日常の語彙の中から故事成語を見つけ出し、その意味や由来を知り、適切に使うことができる。	記述の観察	☆故事成語の意味や由来をふまえて、日常生活で適切に使用することができる。 ----- ★理解の曖昧な生徒には、故事成語辞典で確認するように指示し、適切な使用ができるよう導く。	